

1号

平成26年8月28日

発行者：俵田ゆうじ後援会

温故知新

後援会事務所 〒753-0034 山口市下堅小路25
TEL083-923-1332 FAX083-924-9996 発行人 富田潤二



【四期目あいさつ】

後援会会員の皆様には日頃より温かいご支援並びにご理解を賜りありがとうございます。

この4月には、再び皆様の代表として市議会に送り出していただきまして、まずもって感謝申し上げます。

また、今議会ではこれまでの地道な活動が実り、栄えある県都山口市の議長に拝命されました。山口市議会の伝統を守りつつも、新しい時代にふさわしい議会をいかに運営していけるか、身の引き締まる思いとともに、沸き立つ使命感を抑えられないといった心境です。

さて、山口市は、県庁所在都市、いわば県都であるが故に、福岡、広島の都市圏に埋没することなく、山口県の持続的発展を担う宿命を背負っています。

山口市は、合併して1000平方キロを超える広大な市域となりましたが、そこにはそれぞれの地域で培われてきた様々な魅力的な地域資源、言い換えれば、たくさんの山口市の「強み」があり、これらをつなぎ合わせれば、必ずしや展望は開けると確信しています。



私は、これまでの議員活動を通じて、「大内文化のまちづくり」を柱として、郷土のまちづくりを推進して参りました。我々の郷土には、先人から大切に引き継がれた多くの歴史、伝統、風土があり、これらが、独特の風情や佇まいをかもし出し、地域の個性、つまりは、山口らしさをかたちづくっていると思います。これらは、地域の「強み」であり、大切に次世代につないでいかなければなりません。

時代は地方分権社会となり、その先には道州制もさ

さやかれてきていますが、国のかたちが変わっても、変わらないものが、地域の「強み」であり、これらの「強み」を生かしたまちづくりこそが「大内文化のまちづくり」の精神だと考えています。

この「強み」を生かしたまちづくりは、山口市の中心にある我々の郷土が原点として、そして核となって、それぞれの地域の「強み」をつなぎ合わせていくことで、未来が切り開かれていくと思っています。

平成15年、31歳で初当選以来11年間、ひたすら悩みながらも、初心と情熱、そして、チャレンジ精神を忘れず歩んできました。

私は、「温故知新」を政治信条に掲げ「わが街の「強み」をひと・まち・未来に」をテーマに、皆様に最も身近で、いつもより添っていける地方議会議員として、郷土のまちづくりに力強く取り組んで参ります。

そして、明治維新の策源地から、先人志士たちの気概をもって、郷土への誇りをもてる、責任を果たせる「ふるさと政治家」として、邁進して参りますので、これからも変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願いいたします。

俵田祐児

伝統ある山口市議会議長に就任いたしました

六月二十九日湯田温泉のホテル松政にて

「俵田祐児山口市議会議長就任祝賀会」を大殿地区の
 発起人の皆様のご尽力により開催して頂きました。
 お蔭様でご来賓の方々をはじめ 120 名を超える多くの
 皆様にお集りいただき盛大で和やかな会となりました。
 心より感謝申し上げます。
 その使命の重さに身の引き締まる思いを
 新たにしているところでございます。



(渡辺純忠市長からご祝辞を賜りました)



未来へつなぐ地元のあれこれ
 知っちゃってかいね〜??

保存版

1)昭和4年4月10日
 山口市になった時の初代
 市長は？

- ①松田 敏樹
- ②白銀市太郎
- ③八木宗十郎

2)大内氏が滅びた
 後、毛利隆元が第31代
 大内義隆の菩提を弔う為に
 建てたお寺は？

- ①龍福寺
- ②洞春寺
- ③乗福寺

3)平成8年、
 (社)山口青年会議所が
 大殿地区で始めたイベン
 トは、なんじゃろ？

- ①ほたる祭
- ②アートふる山口
- ③ひなもんまつり

5)山口の三大祭り、
 八坂神社のお祭りは？

- ①山口天神祭
- ②山口祇園祭
- ③山口七夕ちようちん祭

4)奥様に使う山口の
 方言は、どれじゃろう？

- ①オセ
- ②キモヤキ
- ③オゴーサマ

- ② (5)
- ③ (4)
- ② (3)
- ① (2)
- ③ (1)
- こたえ

編集後記

俵田ゆうじ後援会設立12周年、最初の会報誌を
 発行するに至りました。温故知新の信条のもと、
 わかりやすく肩の凝らない、そして未来へ繋げ
 ていける様な会報誌にしたいと思っています。